

Ⅱ．経営方針

1．経営理念、経営の基本方針

当行は経営理念として、以下を定めております。

- お客様に、より一層価値のあるサービスを提供し、お客様と共に発展する。
- 事業の発展を通じて、株主価値の永続的な増大を図る。
- 勤勉で意欲的な社員が、思う存分にその能力を発揮できる職場を作る。

こうした経営理念の下、当行は、顧客、市場からの期待に応え、我が国経済社会における重い責任を果たすことにより、「顧客の信頼」、「市場の信頼」を揺るぎないものとし、以って「最高の信頼」を得ていくことを経営の基本方針としております。

2．利益配分に関する基本方針

当行は、銀行業の公共性に鑑み、健全経営確保の観点から、資本の充実に留意しつつ、グローバルスタンダードに基づく株主重視の考え方に則った利益配分を行う方針であります。

3．投資単位引下げに関する考え方及び方針

投資単位の引下げにつきましては、現時点では、実施する予定はありません。

4．経営戦略

当行は、昨年4月の経営統合に当たり、統合効果を最大限かつ迅速に実現していくために「合併」という形態を採りましたが、その後、経営統合は各分野において順調に進んでまいりました。最大の懸案であった基幹システムの統合も本年7月をもって無事完了し、さらに、重複店舗の統合も今年度中に完了する見込みであります。また、重複するグループ会社の統合や人事面の一本化も順調に進んでまいりました。業績面におきましても、大幅な経費削減を実現するなど、当初想定以上の成果が上がっております。更に、融資慣行の見直しを始めとする「業務改革」につきましても、主要ビジネスラインにおいて推進のスピードが上がってきており、合併の第一ステージは概ね成功裡に終了できたと考えております。

そこで、当行は、「グループ経営改革」を実行することにより、合併の第二ステージへと歩みを進め、グループ収益力の飛躍的な向上と財務体質の強化に取り組んでまいります。

「グループ経営改革」では、最適なグループ経営を実現するための経営組織として、12月2日に持株会社「株式会社三井住友フィナンシャルグループ」を設立致します。その後、戦略事業を担う有力グループ会社であります、三井住友カード、三井住友銀リース、日本総合研究所の3社を持株会社の100%子会社としたうえで、これらを抜本的に強化し、各々の業界におけるトッププレイヤーを目指してまいります。

5．対処すべき課題

さて、当中間期の経済金融環境を顧みますと、米国経済の先行き不透明感が高まる一方、わが国経済においても内需の低迷が続き、今後は輸出の牽引力の低下や公共投資の一層の減少も見込まれております。株価も、期初は安定的に推移したものの、その後は一貫して下落傾向を辿りました。こうした状況を受けて、10月には、政府から「改革加速のための総合対応策」が公表されるとともに、「金融再生プログラム」が金融庁から出され、具体的なアクションプログラムの検討が進められております。

このように厳しい経済金融環境の下、当行は、上記の取り組みを通じた収益力の向上と、金融サービスの提供力強化に努める一方で、不良債権処理と保有株式の圧縮・償却を進めました結果、当中間期の業績は後記の「Ⅲ．経営成績及び財政状態」でご報告申し上げる通りとなりました。

今後につきましても、わが国経済に対する懸念が払拭されない中、銀行を取り巻く経営環境は厳しい状況が続くと予想されます。しかしながら、このような環境にあっても、当行では、一層の経営合理化を進め、「業務改革」の徹底した遂行と「グループ経営改革」の推進、より付加価値の高い金融サービスの提供を通じて、更なる収益力の強化を図るとともに、不良債権の最終処理の推進と保有株式の圧縮等を通じた磐石な財務基盤の構築に向けて、一層の努力を重ねてまいる所存であります。

6．目標とする経営指標

業務の再構築、リストラ推進等による収益力の強化により、平成16年度の業務純益（一般貸倒引当金繰入前）を10,300億円にする計画です。

7．経営管理組織の整備等

当行は、「経営の重要事項の決定機能および監督機能」と「業務執行機能」の分離を狙いとして執行役員制度を導入し、取締役会の「株主利益の観点から業務執行を監督する機能」を一層強化するとともに、日常的な業務執行は執行役員が担当する体制を確立しています。

また、取締役会の内部にリスク管理委員会、報酬委員会、人事委員会を設置し、社外取締役を含む各委員が、リスク管理やコンプライアンスに関する事項、あるいは取締役・執行役員の報酬や人事に関する事項について、客観的な立場で審議しております。

さらに、取締役会長と頭取の諮問機関として「アドバイザリーボード」を設置し、一流企業の経営者や有力経営コンサルタント等の社外の方から、経営全般に亘り幅広く大所高所からアドバイスをいただいております。